韮崎市消防団新聞

Nirasaki volunteer fire corps

ニーラの消防バージョンができました

発行：平成３０年７月１７日
編集：韮崎市総務課危機管理担当

韮崎市消防団は、11分団46部で編成されており、716名の団員が活動しています。（平成30年4月現在）

消防団は、自らの手で災害から郷土・韮崎を守ろうとする精神に基づき、住民有志により組織されています。普段は各自の職業に従事しながら、消火活動や火災予防活動はもとより、地震などの大規模災害発生時においても、住民の救助や復旧活動に大きな期待が寄せられています。

大規模な災害が発生した時には、峡北消防本部や韮崎消防署だけでは、地域住民全体の安全を確保することは難しく、災害から住民を守るためには、地域密着性、要員動力、即時対応力を有する消防団を中心とした地域防災・減災力の強化が必要です。

出初式

新春恒例の伝統行事「韮崎市消防団出初式」を、平成30年1月7日（日）、韮崎市営総合運動場において盛大に挙行しました。出初式は、消防団の雄姿を市民に披露するとともに、団員にとっては、普段からの操法訓練などの成果を発揮し、改めて地域の安全・安心のために力を尽くすことを固く誓い合う場でもあります。

式典に先立ち、市役所から式典会場まで、各分団のポンプ車12台によるパレードを行い、会場ではポンプ車と可搬式ポンプでの操法を披露しました。また、山梨県消防協会長表彰をはじめ、合計184名の団員の方々が表彰されました。

穴山・穂坂 林野火災

本年3月30日に穴山町地内で、また、4月4日には穂坂町地内において、大規模な林野火災が発生しました。

穴山町では、約1.5haを焼失し、団員約260名とポンプ車8台、可搬式ポンプ28台、県の防災ヘリにより消火にあたりました。穂坂町では、焼失面積が約3.71ha、約270名の団員とポンプ車6台、可搬式ポンプ22台が出動、県の防災ヘリと静岡、埼玉県の防災ヘリの応援もいただき消火にあたりました。

いずれも、火災によるけが人や人家への延焼などはなく、鎮火することができましたが、原因は人為的なものでした。少しの油断から大きな火災に発展してしまうので、火の取り扱いには十分注意しましょう。

■穂坂町の林野火災
ジェットシューターで一斉に消火活動をする団員

ニーラが消防団員に

消防団の団結力をより一層高めるとともに、消防団への入団のきっかけになればと思い、韮崎市のイメージキャラクターであるニーラを消防団限定バージョンとして作成しました！

また、消防団では、ピンバッチとTシャツを作成し、夏季活動服として巡回などで着用することにしています。

■消防ニーラのＴシャツ
消防団限定の夏季活動服として着用

消防団員募集

韮崎市に在住、または勤務する18歳以上の方であれば入団できます！
女性の入団も大歓迎です。
詳しくは、各地区の消防団か市役所総務課までお問い合わせください。

『火の用心 ことばを形に 習慣に』
春季全国火災予防運動に出動！

毎年3月1日から7日までの1週間、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及と火災の発生防止を図ることを目的に春季火災予防運動が実施されています。

本市消防団では、この間、各分団による地域での啓蒙活動や3月4日（日）にはポンプ車による市内巡回啓蒙活動を行いました。

西日本豪雨災害でお亡くなりになられた方のご冥福を、心よりお祈り申し上げますとともに、被災者の皆様にお見舞いを申し上げます。

市役所では、現在、義援金を受け付けておりますので、詳しくは広報にらさき8月号または、市ホームページでご確認ください。

地域の皆様の安全な生活を守るため活躍を誓う
歴史と伝統ある辞令交付式を挙行

新年度がスタートした4月8日（日）、韮崎市営総合運動場体育館において、平成30年度韮崎市消防団辞令交付式を挙行しました。この日、新たに辞令を受けたのは、部長38名、班長41名、新入団員40名の計119名です。

志村団長が訓示、内藤市長が告辞を行い、神山分団第1部の功刀晃太団員が宣誓を行いました。

また、各分団が訓練礼式を行い、日頃の活動の成果を披露しました。新入団員は、峡北消防本部の消防署員に訓練礼式の基礎を学びました。

■宣誓
新入団員を代表して、力強い宣誓を行う功刀晃太団員（神山分団）

消防の訓練礼式は、個々の規律心を養成し、隊員としての品位を向上させ、消防での確実軽快な動作の基礎となります。

■訓練礼式
訓練礼式を前に規律正しく整列する団員

熱男～!!
白熱のソフトボール大会

団員の親睦を深めるため、恒例の第32回韮崎市消防団親睦ソフトボール大会を、6月17日（日）に開催しました。消防団という組織の中では、地域の垣根を越えて、火災等の災害に立ち向かわなければ、地域の安全・安心は守れません。

大会当日は、分団対抗で熱戦が繰り広げられ、試合を通じて親睦が深まるとともに、今年は優勝分団が県大会に出場するため、白熱した試合になりました。試合後の団員の皆さんの笑顔がとても印象的でした。

（大会の結果）
優　勝　清哲分団
準優勝　韮崎分団B
第3位　穂坂分団